

## さとうきび新品種「NiF8」の特性

最上邦章・岡 三徳・園田忠弘・勝田義満・水本文洋 (九州農業試験場)

Kuniaki MCGAMI, Mitsunori OKA, Tadahiro SONODA, Yoshimitsu KATSUTA and Fumihiro MIZUMOTO : Growth Characteristics of New Released Sugarcane Cultivar "NiF8" in the South-Western Islands of Japan

南西諸島におけるさとうきび品種は、NCo310に代表され、その普及面積比率は、鹿児島、沖縄の両県で約50%もの高い値を現在も堅持している。NCo310の優れた特性と南西諸島への適応性は、わが国のさとうきび育種において常に育種の具体的目標となってきた。とりわけ、この品種に欠けた“早熟高糖性”を新品種に補完することを最大の育種目標にしている<sup>3)</sup>。

ところが最近では、NCo310には黒穂病の激発に加えて、黄色の胞子を形成するさび病 (通称、黄さび病)、根腐病の被害が南西諸島の全体に拡大している。生産現場では、NCo310のもっている問題点を克服し、早熟高糖、安定多収性を強化した新品種育成への期待が一段と高まっている。この期待に向けた優良品種「NiF8」を育成したので、その育成経過と特性を報告する。

## 1. 育成経過

「NiF8」の育成は、台湾糖業研究所が「CP57-614」を母、「F160」を父として交配した種子から、九州農試が1981年春に実生を養成して選抜圃に定植した時期に始まる。その後、1984年まで栄養系選抜を繰り返し、'83年2月に「KF81-11」の系統名を付けた。1985、'86年には、特性検定試験、系統適応性検定試験に供試し、'87年から'90年までは、鹿児島県奨励品種決定試験で主要栽培地域における適応性を検定した<sup>1)</sup>。

## 2. 早熟高糖、多収及び病害抵抗性

NiF8は、長茎で、茎径、茎数とも中程度の草型を示し、茎数型と茎重型の間中型に属する。本品種は、発芽性及び株出での萌芽性とも良好で、茎の伸長は生育初期から早く、夏期の伸長も旺盛である。その原料茎収量は、鹿児島県熊毛地域では、普及品種「NCo310」に比較して春植及びその株出栽培 (春株) の両作型とも高い値を示す (第1表)。また、大島地域では、春植、春株ともにNCo310と同等の収量性を示し、夏植では明らかに多収である。

NiF8の蔗汁糖度は、鹿児島県内のどの島嶼においても、NCo310に比較して早期 (10, 11月) から上昇し、

収穫期 (12~4月) を通じて高い値を維持する (第1図)。また、純糖率も高く推移する。NCo310と比較して、収量、糖度ともに高いNiF8の特性は、土地面積当たり産糖量 (可製糖量) の増大をもたらす (第1表)<sup>1, 2)</sup>。

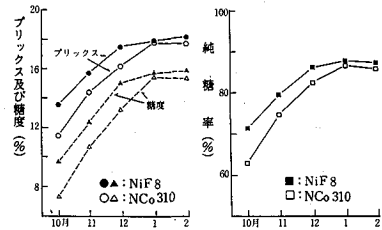
NiF8の病害抵抗性は、NCo310に激発する黒穂病、さび病 (褐色の胞子形成)、黄さび病に対して抵抗性であり、葉焼病、根腐病、葉片赤斑病などにもNCo310に比較して強である。さらに、NiF8は、上述した優良特性だけではなく、新たな対応として耐風性、易脱葉性 (省力性)、及び収穫後の低劣化性 (蔗糖から還元糖への転化程度が低い) を兼備したことが注目される。

NiF8は、NCo310の主要な弱点を克服した早熟高糖、多収及び病害抵抗性を兼備した新品種である。その特性により、とくに低品質地帯や病害発生地帯における品質向上と生産の安定化が可能となる。さらに、1994年からの品質取引移行に向けた品種として期待される<sup>1, 2)</sup>。

今後は、育苗基本目標を地域や作型に応じてさらに具体化した品種育成を進め、実用品種のメニューを拡大することが重要となる。

## 引用文献

- 九州農試さとうきび育種研：新品種決定に関する参考成績書 1-44, 1991.
- 岡 三徳・勝田義満・水本文洋：総合農業の新技术 4, 1-6, 1991.
- 岡 三徳：農業および園芸 66, 319-326, 1991.



第1図 NiF8の蔗汁ブリックス、糖度及び純糖率の推移  
九州農試における系統適応性検定及び奨励品種決定試験 (春植) の結果 (1985-89) を平均値で示す。

第1表 「NiF8」の高糖・多収性及び高産糖性 (九州農試さとうきび育種研究室 1985年~'90年)

作型	品種	原料茎数 (本/a)	原料茎長 (cm)	茎径 (mm)	1茎重 (g)	原料茎収量 (kg/a)	NCo310対標比 (%)	蔗汁品質			可製糖量 (kg/a)	NCo310対標比 (%)
								糖度 (%)	対標比 (%)	純糖率 (%)		
春植	NiF8	1,080	224	22	1,046	962	120	15.7	105	87.5	116.2	127
	NCo310	1,150	217	20	804	804	100	14.9	100	85.2	91.2	100
夏植	NiF8	967	245	22	1,146	1,113	125	20.6	110	94.2	182.7	142
	NCo310	992	230	21	876	888	100	18.7	100	91.7	128.6	100
株出	NiF8	1,065	229	22	1,095	939	104	15.7	111	87.0	114.7	116
	NCo310	1,183	226	21	943	905	100	14.2	100	84.0	98.7	100

注) 夏植は、鹿児島県農試徳之島支場における調査結果を示す。